

プレゼンテーション技術一覧(長崎)

No	新技術名	登録No	記号	区分	分類(1)レベル1	分類(1)レベル2	副題	概要	会社名
1	LDIs(エルディス)工法	KT-980135	V	工法	共通工	深層混合処理工	低変位高圧噴射攪拌工法	本技術は、高圧噴射工法と機械攪拌工法を併用する周辺地盤変位低減型の高圧噴射地盤改良工法で、従来は高圧噴射工法(二重管工法)にて対応していた。本技術の活用により、周辺地盤の変位低減、排泥低減、コスト削減が期待出来る。	小野田ケミコ株式会社 九州支店
2	循環式エコクリーンプラスト工法	CB-100047	V	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	循環式スチールグリットによるプラスト工法	本技術は、鋼構造物の塗装塗装の際、環境性・施工性・経済性に優れた下地処理を行う技術であり、従来はエアープラスト工法で対応していた。研削材にスチールグリットを採用し、投射した研削材を再利用することで、産業廃棄物削減を図り、施工時間を短縮している。	山田塗装 株式会社
3	T&C防食-塩害用-	HKK-110001	V	工法	港湾・港湾海岸・空港	上部工	コンクリート塩害劣化防止表面含浸工法(ハイブリッド型)	塩分環境に曝されるコンクリート構造物に対し、無機質浸透性材料を2種類塗布・含浸させる事で、塩害に対する耐久性を飛躍的に高める技術である。表層部分の細孔を不溶性ガラス質で充填し緻密化する事で、耐凍害性、防汚(藻)性、表面硬度増が併せて期待できる。	株式会社 エスティテクノロジ
4	SAVE-SP工法	SKK-090002	VE	工法	港湾・港湾海岸・空港	陸上地盤改良工	砂圧入式静的締固め工法	小型施工機を用いて狭隙地や既設構造物直下の地盤を締固める工法。従来は薬液注入工による固化で対応していた。従来技術に比べ大幅なコスト、工期の低減が可能であり、また使用する流動化砂は薬液注入工の注入材に比べ、周辺環境への影響も低減される。	株式会社 不動テトラ
5	大型土のう作成補助器具「トンサボ」	CB-120030	A	製品	仮設工	その他	1トン土のうを安全かつ少人数で短期間に作成できる	従来大型土のう作成には単管で枠を組んだものを用いていた。この工法では枠組みの着脱に時間がかかるうえ、枠を外す際に作業者が危険にさらされる問題があった。このため本技術では大型土のう支援器具「トンサボ」を用いて工期短縮、効率性、安全性を確保するものである。	株式会社 YPSテック
6	スタンドドライブ(SD)工法	SK-030015	V	工法	共通工	法面工	無足場法面削孔装置	従来の法面鉄筋挿入工及びアンカー工はレッカーで削孔機械を吊り下げた足場を仮設し足場上に削孔機械を置き施工を行っていましたが、本技術のSD工法はレッカー及び足場仮設を必要とせず、削孔機械をワイヤーで設置し無重機、無足場での施工を可能にしました。	有限会社 海昌
7	特殊高所技術	SK-080009	V	工法	調査試験	構造物調査	足場や橋梁点検車等を使用せずロープ・装備具を使用し近接目視点検を行う技術である	本技術は橋梁や高所構造物の調査、点検および補修をロープのみで行う特殊高所技術で、従来は枠組足場等の仮設備で対応していた。本技術の活用により仮設備が不要となり大幅な工期短縮及びコスト削減が期待でき、超高所など足場設置が困難な場合でも対応ができる。	株式会社 特殊高所技術
8	フォルカstrandシート工法	QS-080011	V	工法	道路維持修繕工	橋梁補修補強工	特殊加工した連続繊維シートによるコンクリート構造物の補修・補強工法	本工法は、炭素繊維などをエポキシ樹脂で棒状に硬化し、一方に配列させた状態に加工した強化繊維シート「strandシート」を、エポキシ樹脂等の常温硬化型接着剤を用いて貼り付けるだけで、従来より安価で短期間にコンクリート構造物の補修・補強が可能である。	新日鉄住金マテリアルズ株式会社
9	有機性廃棄物の発生地内堆肥化製造工法(産地消工法)	CB-110049	A	工法	河川維持	堤防除草工	植物系廃棄物(刈草及び剪定枝葉等)を原料とした発生地内での堆肥製造の工法	河川・公園などの維持工事等により発生する植物系廃棄物(刈草、枝葉等)は従来は焼却施設又は堆肥化処理施設まで運搬して処理を行っていました。本技術は維持工事等で発生する植物系廃棄物を原料として、発生地内にてバイオ技術を用いて短期間で堆肥化処理を行います。	有限会社 東海バイオ
10	ネオロガー『記録ch』	KT-140107	A	システム	共通工	情報化施工	公共工事の現場に設置された計測機器の計測データをモバイル通信網を利用して自動的に収集記録を行うシステム	本システムは、計測機器の計測データを、モバイル通信網を使ってリアルタイムに収集記録するシステムで、従来は、計測データを人手で回収することで対応していた。本技術の活用により、計測データ回収作業が軽減でき、迅速な状況把握と経済性の向上が図れる。	株式会社 仙台銘板
11	高強度帯状ジオンセティックパラインク	HR-990111	V	材料	共通工	軟弱地盤処理工	軟弱地盤上の盛土対策工 敷網工	高強度・低コストの敷網材料である。製品強度範囲(50kN/m~1350kN/m)が広く、広幅(公称幅4.5m)長尺にて、工程及び施工性が金網と比較して際立って優れ、かつ120年以上の耐久性を有している。地盤改良との併用にてさらなるコスト削減が可能である。	エターナルプレザブ株式会社
12	地山補強土『PAN WALL(パンウォール)工法』	CB-980093	V	工法	共通工	アンカー工	安全な逆巻き施工による急勾配斜面安定工法/表面保護工にコンクリート板を用いた地山補強工法	PAN WALL工法は急勾配斜面安定工法、地山補強工法の理論に基づいた工法です。比較的短い補強材と表面工としてプレキャストコンクリート板を使用します。急勾配(1分~5分、3分を標準)化により自然法面や支障物を保護し、「逆巻き工法」を基本とした安全性の高い工法です。	矢作建設工業株式会社 九州支店
13	GTフレーム工法	CB-070019	V	工法	共通工	法面工	ジオグリッドおよび短繊維混合補強砂を用いたのり面表層保護工	GTフレーム工法は、ジオンセティックスを利用した新しい吹付のり枠工である。のり面・斜面に連続したジオグリッドを格子状に設置し、短繊維混合補強砂を吹付けてのり枠を造成することにより、「補強性能」と「環境性能(全面緑化)」を備えたのり面保護工となる。	イビディングリーンテック 株式会社
14	ワイヤーネット被覆工法	CG-110030	A	工法	付属施設	防護施設設置工	ワイヤーネットを用いた落石予防工法	本技術は斜面上の不安定な複数の石をステンレス製のワイヤーネットで一体化するように被覆することで落石を防止する技術。被覆のみで安定化出来ない場合は深層アンカー(穿孔長1~2m、人力施工)で補強。厚層3.5m、斜面長25m(傾斜60°)程度の岩塊抑止も可能。	株式会社 斜面対策研究所